



2020年5月29日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社  
代表者名 代表取締役会長 岡本 毅  
(JASDAQ・コード7746)  
問合せ先 IR担当部長 風間 卓  
電 話 04-7137-3111

### 営業外費用の発生及び2020年3月期連結業績予想値と 決算値との差異に関するお知らせ

当社は、2020年3月期連結会計年度において、営業外費用を計上するとともに、2019年11月8日に公表いたしました2020年3月期の業績予想と、本日公表の決算値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 営業外費用(持分法による投資損失)の発生

2020年2月14日公表「営業外費用の発生に関するお知らせ」の通り、当社の持分法適用関連会社であるJAPAN 3D DEVICES株式会社に対する投資持分について、2020年3月期第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)において63百万円の持分法による投資損失を計上しておりますが、加えて、2020年1月1日から2020年3月31日までの間に88百万円の持分法による投資損失が発生し、合わせて、2020年3月期連結会計年度における持分法による投資損失は151百万円となりました。

#### 2. 2020年3月期通期連結業績予想値と決算値との差異

(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,800	百万円 160	百万円 10	百万円 10	円 銭 0.43
今回発表実績 (B)	5,488	36	△186	△190	△8.21
増 減 額 (B-A)	△312	△124	△196	△200	
増 減 率 (%)	△5.4	△77.5	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	6,078	331	271	186	8.21

#### 差異の理由

プロジェクターは、フラットパネルディスプレイの低価格化などにより、普及価格帯を中心として需要の低迷が長期化し、フライアイレンズ、反射鏡などの当社製プロジェクター用部品の販売は減少しました。フライアイレンズについては、新型コロナウイルス感染拡大により、中国湖北省の外注先での一時操業停止や、最終製品の需要減少に伴う影響も出ています。ガラスフリットは、太陽電池向けにおける顧客拡大の遅れにより販売が想定を下回りました。これらにより、売上高は、前回発表予想比で312百万円下回りました。

生産量に応じた交代勤務シフトパターンの見直し、派遣受入人員の削減、日々の点検の強化による修繕費の削減などコスト対策を進めましたが、営業利益は前回発表予想を124百万円下回りました。持分法投資損失の増加などもあり、経常利益は前回発表予想を196百万円下回りました。

以 上